

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|------------|----|
| 32 | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | チャレンジ (任意) | | 現在、社会課題を解決するため自社開発を進めている。 ・感染症防止・・・過酸化水素除染装置 ・感染防止・・・ウオッシャー・ディスインフェクター、内視鏡消毒器など ・試験開発の促進・・・試験装置 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 33 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | 基本 (必須) | | ・騒音被害が出る設備はありません。 ・自治会に参加し、自社が地域に与える影響を把握している。(本社地域の自治会、八幡工場団地自治会) | | | | 4 | | | | | 9 | | 11 | 12 | | | 14 | 15 | 17 | | |
| 34 | 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | チャレンジ (任意) | | ・地域活動への寄付や地域の美化活動に参加している。 ・希望があれば、小学生の就業体験や大学生向け勉強会を実施している。 ・商工会議所に加入し、理事を引き受けている。 | | | | 4 | | | | | | | 11 | | | | 14 | 15 | 17 | | |
| 35 | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している | チャレンジ (任意) | | ・外注委託先については、地元企業を優先して発注している。 ・一部の工場で導入しているグリーン電力は全てが長野県内の水力発電所で発電した電力を利用している。 ・シルバー人材センターを積極的に利用している。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | | | |
| 36 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している | 基本 (必須) | | ・経営理念を明文化し、掲示や朝礼等の唱和により従業員への周知浸透を図っている。 ・入社時教育として経営理念を説明している。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 | |
| 37 | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している | 基本 (必須) | | ・作業主任者を専任し、法令対応している。 ・薬機法の改正情報を常に収集し、必要に応じ対応している。 ・防火管理者、衛生管理者、安全運転管理者を適切に配置し、設備点検を実施している。(建物、車両、機械、設備等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 38 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | 基本 (必須) | | ・総務部が事務局となり、環境マネジメントシステムを推進し、自社が環境へ与える影響を調査し、対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 39 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体) | 基本 (必須) | | ・営業部門は、お客様への訪問(直接/Web)や展示会、お客様アンケートによりお客様の声を聴く機会を設けている。 ・購買部門は、仕入先と常にコミュニケーションを取るよう意識している。 ・定期的に職場ミーティングを実施し、従業員から安全衛生について意見を吸い上げ、安全衛生委員会に報告している。 ・労使協調を基本とし、経営者と従業員間のコミュニケーションを図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| 40 | 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | チャレンジ (任意) | | ・自社を取り巻くリスクを把握し、対応手順をまとめたBCP規定を整備している。 ・事業継続上のリスクがあれば、経営者が中心となり、経営会議にて指示、対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 41 | 【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる | チャレンジ (任意) | | 経営方針に「環境と調和した商品を提供し、社会に貢献する」と記載し、企業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 42 | 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | チャレンジ (任意) | | ・BCP規定を策定し、全管理職にファイルで配付している。 ・緊急連絡網の整備、サーバ及びPCデータのバックアップ、コンピュータウイルス対策などを実施している。 | | | | | | | | | 9 | | 11 | | | | | | | 13 13.1 | 16 |
| 43 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | チャレンジ (任意) | | ・後継者候補があり、次世代に向けて育成している。 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 | |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------------------|--|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定